

新人加入 100%!

医労連共済の 新歓助成を活用しよう



医労連共済

◆はじめに

加盟組織の組織拡大にむけた奮闘で、日本医労連は10期連続で組織を増勢させ、過去最高の組織人員を更新しています。単組・支部では、職場過半数をめざす取り組みや新人100%加入の取り組みなど旺盛に行なわれ、組合員拡大が進められています。そうした中で、新人100%加入をめざして、新人に共済プレゼントを行なう取り組みがあります。

2019年の新歓では、医労連共済の30事業年度記念として、新人の共済加入や共済プレゼントの取り組みに、助成を行ないます。

すべての単組・支部で、新人の共済加入に組み込みましょう。



◆新歓への助成の内容

2019年の新歓で、新人がセット7型以上に加入すれば、単組・支部にクオカードで助成します。

- ① 2019年4月15日までの加入
(効力発生：2019年5月1日)

加入者1人 クオカード2千円分

- ② 2019年4月16日から5月15日までの加入
(効力発生：2019年6月1日)

加入者1人 クオカード1千円分



◆取り組みについて意思統一

- 1) 新人から共済に加入する意義など意思統一します。
 - ①「万が一」の備えは、社会人になったその日から。
 - ・車購入と同時に任意保険に入るように、社会人になったその日から「万が一」の備えは、本人自身のために必要です。
 - ②20歳代でも長期休業になるケースはあります。
 - ・年齢によって長期休業になる事由は様々です。20歳代では妊娠分娩やメンタルヘルスでの長期休業が比較的多くあります。若いから大丈夫ではありません。
 - ③収入や貯蓄が少ない年代だからこそ備えが必要。
 - ・社会人になったといっても、新人のころは収入や預貯金に余裕はありません。休業になった場合の給付は喜ばれています。また、年収の低い世帯でも暮らしの備えを求める調査結果もあり、説明する側が掛金負担があると遠慮する必要はありません。
 - ④新人の時から医労連共済に加入。今後の暮らしの負担が減ります。
 - ・医労連共済を知らずに高すぎる民間保険に加入するケースが多くあります。新人から医労連共済に加入していれば、毎年見直しも出来るので、安い掛金で保障をつくることができます。
- 2) 組織拡大で共済を活用する意義など意思統一します。
 - ①共済の良さを説明すれば、共済も組合加入も続きます。
 - ・共済プレゼントに取り組みでいる組織では、共済の魅力を伝えることで、共済も継続するし組合にも残る結果が出ています。新人100%加入にむけて、共済を活用しきることが大切です。
 - ②共済推進も組合活動。共済で組合を大きく強くしよう。
 - ・共済を推進するのも大切な組合活動です。共済推進で組合が大きくなれば、労働条件改善など交渉力アップにもつながります。組合財政の強化にもつながるので成果が目に見えます。

◆新歓までの準備について

- 1) 新歓の取り組みで、新人の共済加入の取り組みを位置付け、どのような中身にするか議論します。

《取り組み例》

「暮らしの総合保障2か月プレゼント」（5月・6月分）

- 【プレゼント内容】
- ・セット7型
 - ・セット7型+交通2口など。

→助成の範囲で取り組みます。

* 注意点

- ① 7月以降は、加入者本人が掛金負担することになります。
 - ・継続の希望がなければ解約手続きが必要です。
- ② 7月以降も継続してもらうことが大切です。
 - ・医労連共済の魅力をしっかり伝えた組織では、ほとんどの新人が7月以降も共済加入を継続しています。
 - ・「5月6月はプレゼント。7月以降に必要なければ解約できます」という伝え方では、解約される結果となります。

- 2) 制度学習とグッズなど準備をします。

- ① 準備のための制度学習会は、共済推進活動とあわせて、秋と春の拡大月間で「共済説明会」を開催して取り組みます。
→各月間2回まで参加者1人500円の助成を活用して下さい。
- ② 担当や日程を決めます。新人へのグッズとして、医労連共済の新人向けパンフと、新人への共済プレゼントチラシを用意します。
- ③ 当日の進め方は「新人加入100%マニュアル」で確認し、用意は周到に、当日はシンプルに進めます。

◆◆新人の共済加入を位置付けよう。助成を活用しよう◆◆